

平成22年2月15日

各位

上場会社名 日本エアーテック株式会社
 代表者 代表取締役社長 平沢 真也
 (コード番号 6291)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 大重 一義
 (TEL 03-3872-9192)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,000	106	50	75	8.36
今回発表予想(B)	5,426	185	129	93	10.43
増減額(B-A)	574	79	79	18	
増減率(%)	9.6				
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	8,940	395	480	257	28.64

修正の理由

[修正の理由]

当期における我国経済は、世界的金融危機以降の景気後退の底は脱したものの、その回復は遅れております。当社の事業環境は、半導体、液晶、電子部品関連分野向けの設備投資抑制により売上高及び受注が大幅に減少し、極めて厳しい状況となっております。一方、バイオリジカル分野では、製薬、食品分野の設備投資は景気低迷の影響を受け、本格的な設備投資までは至りませんでした。しかし、新形インフルエンザの世界的流行により、病院、医療における感染対策施設などへの設備投資が増加しました。

このような状況下、当社は製薬、病院・医療、食品工業などのバイオリジカル分野への営業強化を図ると共に、東京営業所を地域主体営業に組織変更し、きめ細かい販売活動を推進してまいりました。また、新製品開発・改良による製品の差別化を行い、一層の販売強化を進めてまいりました。しかしながら、電子工業分野の売上高減少を補填することができず、売上高及び利益において公表値を下回る見込みとなりました。

収益面におきましては、役員報酬をはじめとする人件費の削減、製缶・アルミ部品の社内製作の増加による原価低減及び徹底した経費節減を実施しました。しかし、売上高の減少、販売価格の下落などの影響は多大であり、公表値を下回る見込みとなりましたことから業績予想を修正するものであります。

[業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項]

本資料に記載されている業績見直しなどの将来に関する記述は、当社の現時点における入手可能な限りの情報を基に作成したものであり、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性がありますのでご承知おきください。

以上